



うきうき コドモックル

季刊 第29号

2014年12月発行

子ども発達支援事業（道立施設等専門支援事業）についての紹介

北海道では、「道内のどこの市町村に住んでいても同じような療育を受けることができる」ことを目的とした「障がい児早期療育システム推進事業」が平成元年度から開始され、平成9年度には67全ての圏域に母子通園センターが設置、システムの完成をみた後、平成16年度まで継続されました。

平成17年度からは、国の制度変更などに伴い、事業の名称が「子ども発達支援事業」に変更されました。それに伴い、多くの「母子通園センター」では名称を「子ども発達支援センター」へと変更する中、一部の市町村においては、圏域を解消して「我が町」の「子ども発達支援センター」を設置する動きも見られ、現在では90ヶ所（政令市・中核市を除く）になっています。

市町村子ども発達支援センターの目的は、「発達の遅れ又は障がいのある児童とその家族が身近な地域において適切な相談支援及び療育を受けることができること」にあります。北海道では、こうした市町村子ども発達支援センターに対して、地域での発達支援機能（子どもへの発達支援・家族への支援・地域の療育体制づくり）を有意義に展開できるよう専門的な支援（道立施設等専門支援事業）を行っており、コドモックル（療育部門）と旭川肢体不自由児総合療育センターが地域分けをした上で対応しています。

道立施設等専門支援事業での支援内容は、「発達の評価、療育指導」「子ども発達支援センター職員等に対する医学的・技術的な指導」「家族へのカウンセリング」「市町村が行う発達支援体制整備への支援」「その他の特に専門的観点からの支援が必要と認められる業務」となっていますが、具体的には、「診察」「個別評価」「療育場面の検証」「カンファレンス」「学習会」等を中心に支援を展開しています。

コドモックル（療育部門）の支援では、医師の診察、発達検査、リハビリテーション課スタッフ（理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、視能訓練士（ORT））の評価を行い、総合的な評価と診断を実施しています。保護者には、医師から診断や状態像、家庭における関わり方のポイント等について丁寧な説明を行い、最後に外来受診を奨める場合もあります。あわせて、市町村子ども発達支援センターと連携している保健師、保育所・幼稚園・学校の職員にも積極的に事業に参加してもらい、カンファレンスを通じ、総合的な評価と診断に基づいたアドバイスとやりとりを行う中で、お子さんの障がいに対する理解を共有し、連携の強化を図っています。

コドモックル（療育部門）では、石狩・南空知・後志・東胆振・日高・檜山の21市町村に対して平成24年度実績では年間55回の支援を行っており、その内訳は、医師48回、PT14回、OT16回、ST5回、判定員16回、保育士6回、相談員35回となっています。また、利用されたお子さんの総数は167名、年齢の内訳は、「未就学児146名」「学齢児21名」、障がいの内訳は、「運動障がい43名」「知的障がい11名」「広汎性発達障がい95名」「言語障がい2名」「その他16名」となっています。

なお、道立施設等専門支援事業をきっかけにコドモックル外来（リハビリ小児・リハビリ整形・小児精神科等）につながったお子さんは52名いました。市町村子ども発達支援センターは、在籍しているお子さんへの支援に限らず、保育所・幼稚園への支援も求められており、今後、道立施設等専門支援事業に対するニーズはますます広がりが高まりを見せていくものと考えられます。

放射線部へようこそ！

私達は病院の1階で仕事をしています。怪獣がいてある場所が放射線部の受付です。どの部屋も大きな機械が置いてあって怖いイメージを与えてしまいがちですが、病院一明るい職場を目指しています。そんな職場を簡単ではありますが紹介させていただきます。



一般撮影室

一般撮影室は骨の写真を主に撮影する部屋と、胸やお腹を主に撮影する2つの部屋があります。受付にファイルを出してチャイムを押して頂ければ、その都度スタッフが案内します。

写真の枚数によっては時間が長くなることもありますが、お話をしながら楽しく撮影するように心がけています。



CT室

身体の断面の写真を短時間で撮像することができます。頭や胸、お腹など撮影する部分によって時間は異なりますが、入室から退室まで概ね5分ほどです。ベッドに寝ているだけで終わる簡単な検査です。放射線を利用するため被曝はありますが、出来る限り被曝を少なくするように、撮影条件を工夫しています。



MRI室

放射線を一切使わずに、強い磁石と電波を使い、色々な方向からの身体の断面の写真を得ることができます。検査中は絶えず大きな音がしていますが、痛みは全くありません。検査時間は30分程度かかり、その間身体を動かすと正しい評価をすることができません。小さなお子様には睡眠剤を使用して眠っている間に検査を行います。わからないことはその都度スタッフにお尋ねください。

〒006-0041 札幌市手稲区金山1条1丁目240番6

北海道立子ども総合医療・療育センター

(コドモックル) Tel. 011-691-5696

ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/hkr/>